

## 屋根 - 屋根用 S X ( A X ) 1 1

下地仕上げ（パラペット仕上げには、次の点に注意してください。）

1. E X P . J 取付部のパラペット高さは、カバーのかぶりしるの関係から図1のように100mm以上確保してください。
2. 建物のクリアランスは、変位量にあわせて仕上げてください。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。

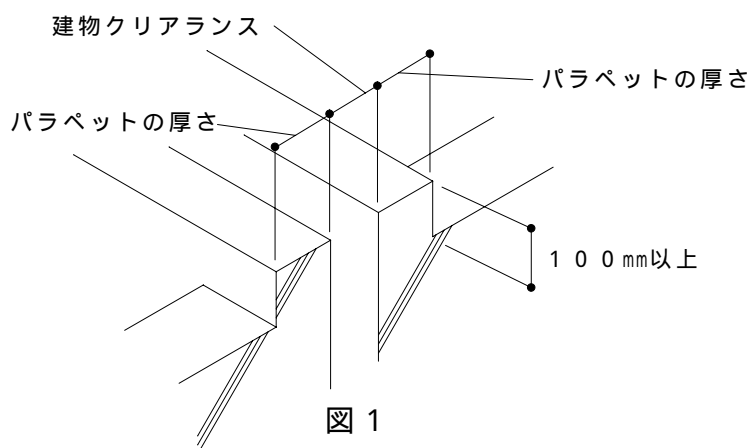


図1

### 取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

取付は次の順序で行ってください。

#### 1. 補助シートフレームの取付

パラペット、クリアランスによって図2のように内側から30mmの位置に補助シート受けフレームを取付ます。取付に先立ちフレームの穴位置に従って躯体に、φ6、深さ40mmの下穴をあけます。次に付属のフィッシャープラグを穴に挿入し、固定ネジで止めます。

（固定ネジは、事前に平ワッシャをセットしておきます。）

注）規格品は、パラペット厚が120mmを除く全機種に補助シート受けフレームは取付けられます。

注）規格品以外は、施工図に基づいて補助シート受けフレームの取付を行って下さい。

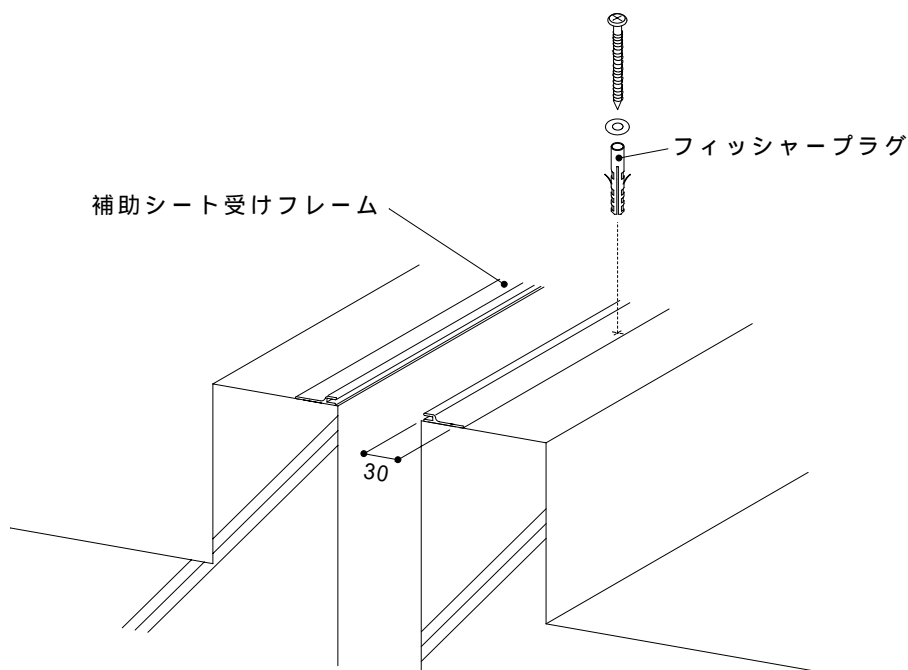


図2

## 2. パラペット用フレームの取付

パラペット用フレームの穴位置に従って躯体に、φ8、深さ60mmの下穴をパラペットの外側から65mmの位置にあけます。次に付属のフィッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジで止めます。（固定ネジは、事前に平ワッシャをセットしておきます。）この時フレームの長手方向の端部はパラペット端部に合わせます。（図3、4）また、補助シートの取付位置については、1で述べた補助シート受けフレームに取付るタイプを図3にその他の直接パラペットフレームに取付るタイプは図4にそれぞれ示します。補助シートの長さについては、図3、4に示すように60mm程度垂れ下がるようにして下さい。この部分は、外壁用補助シートと接着することになります。（接着剤は、別途です。）フレームには、止水テープ（ブチルゴム付きアルミテープ）を図4のように張りつけて下さい。

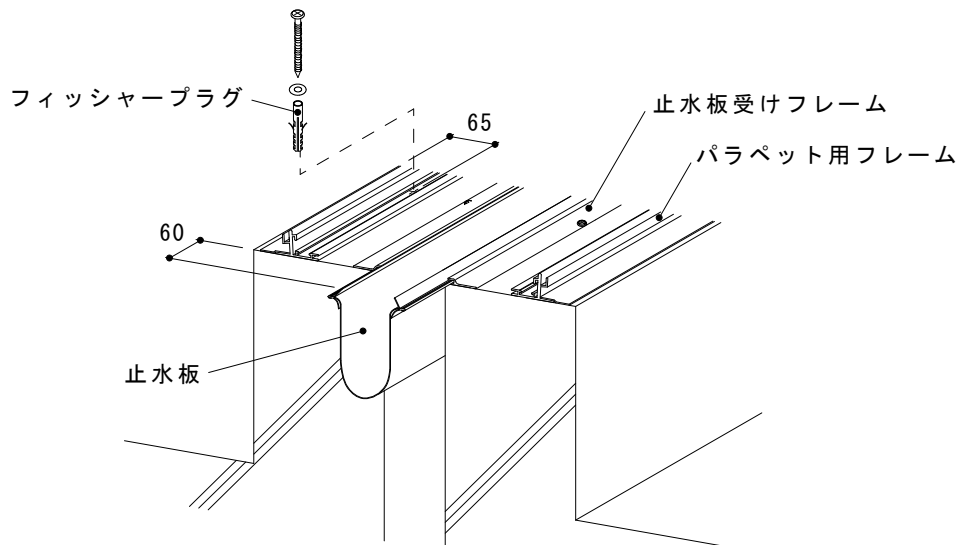


図3

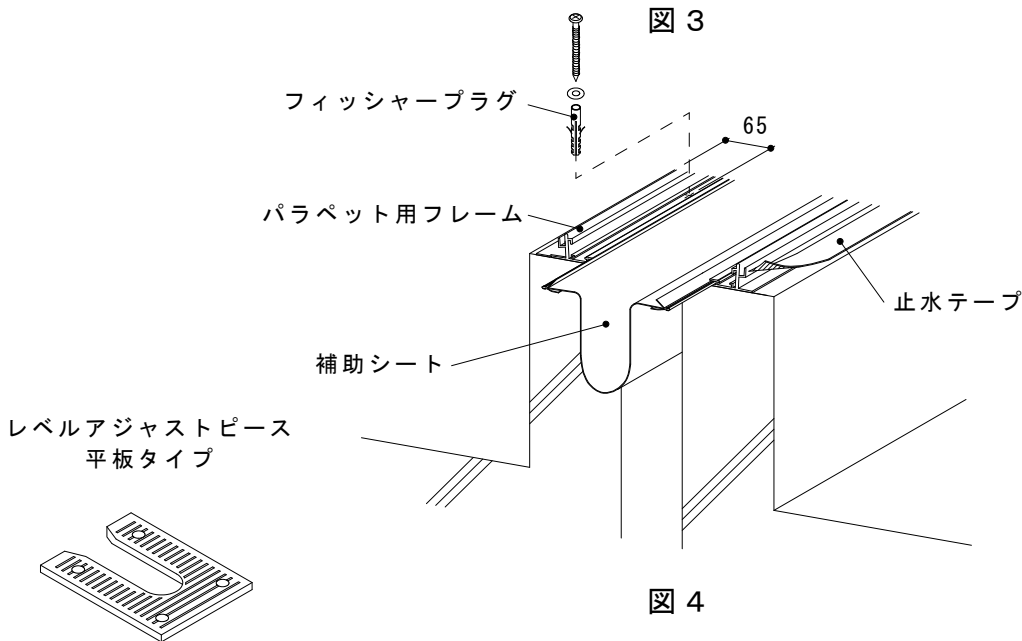


図4

図5

注1) フレームユニットの固定用穴は、必ず全て固定して下さい。

注2) フレームユニットのレベル出しには、付属のレベルアジャストピース（図5）を御利用下さい。調整範囲は10mm程度です。ピースを5枚以上使用すると10mm以上の調整が可能ですが5.0×50の固定ネジでは所定の固定力が確保できないため50mm以上のネジを使用して下さい。

注3) パラペット用フレームのジョイントは、図6のように接続金具を差し込んでネジを締め付けて固定してください。

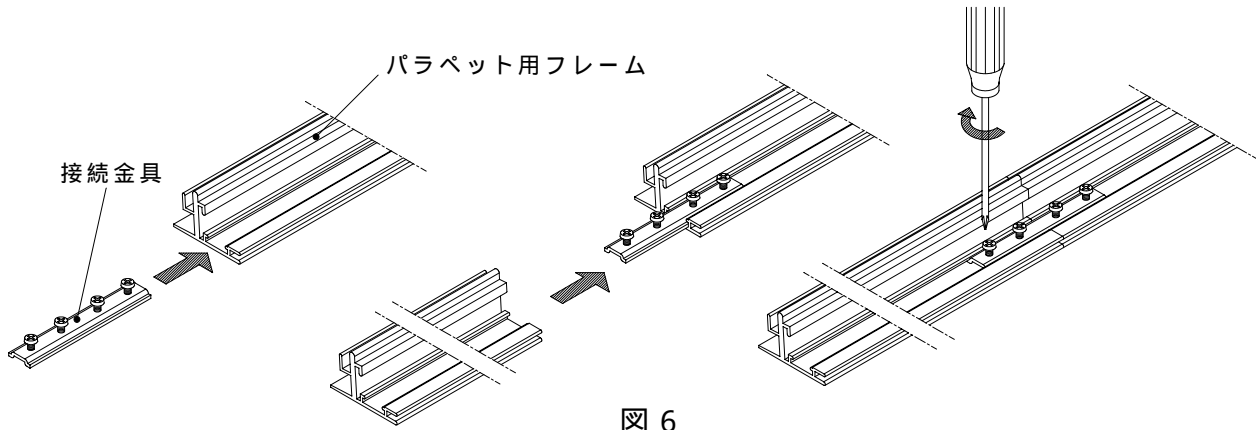


図6

### 3. ホルダーユニット及び止水板の取付

パラペット用フレームに対して止水板とホルダーユニットを取付ます。フレームの端部に合わせて止水板を取付、次にホルダーユニットを取付ます。止水板は、ホルダーピッチ決めにもなっているので交互に図7のように取付ていきます。ホルダーの取付方については、図8に示します。ホルダー取付金具を下に押しパラペット用フレームの溝部に引っかかるようにして取付て下さい。次に、取付たホルダーの位置を整理して下さい。この際、ホルダー中央部のホルダー受けを目安にして並べて下さい。

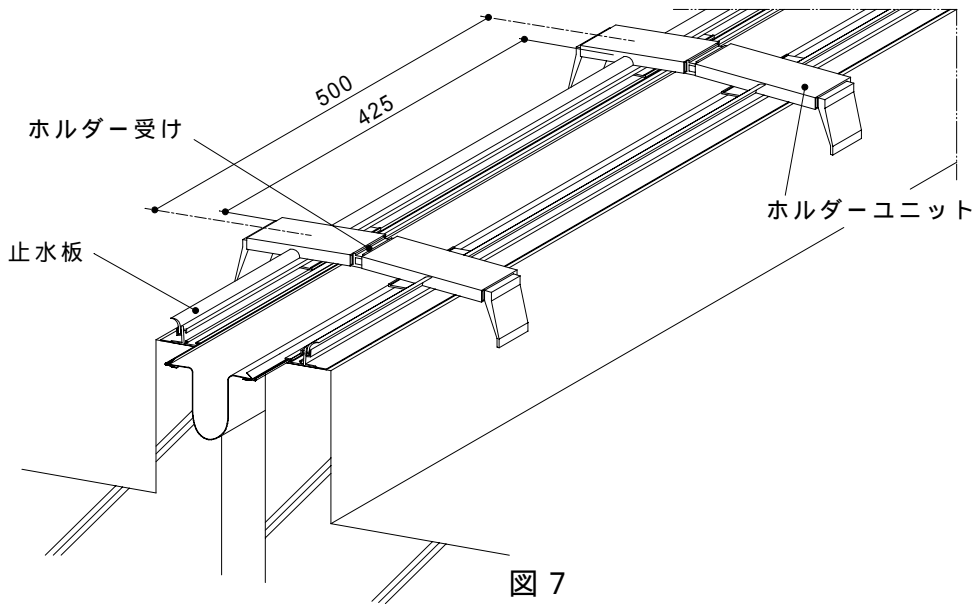


図7

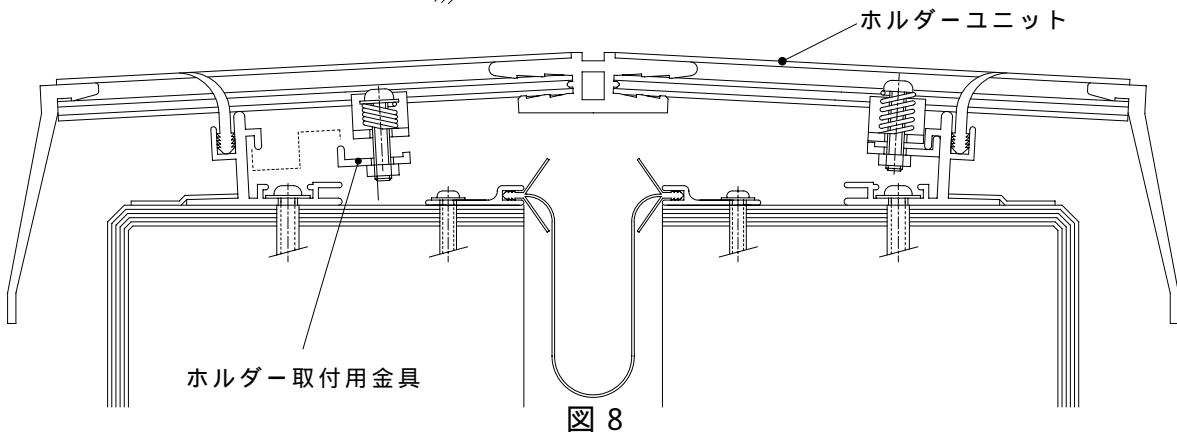


図8

#### 4. カバーの取付

カバーの取付は、両端の小口カバーの付いたものから取付ていきます。この時、既に取り付たホルダーユニットに図9のようにカバーを嵌合させます。

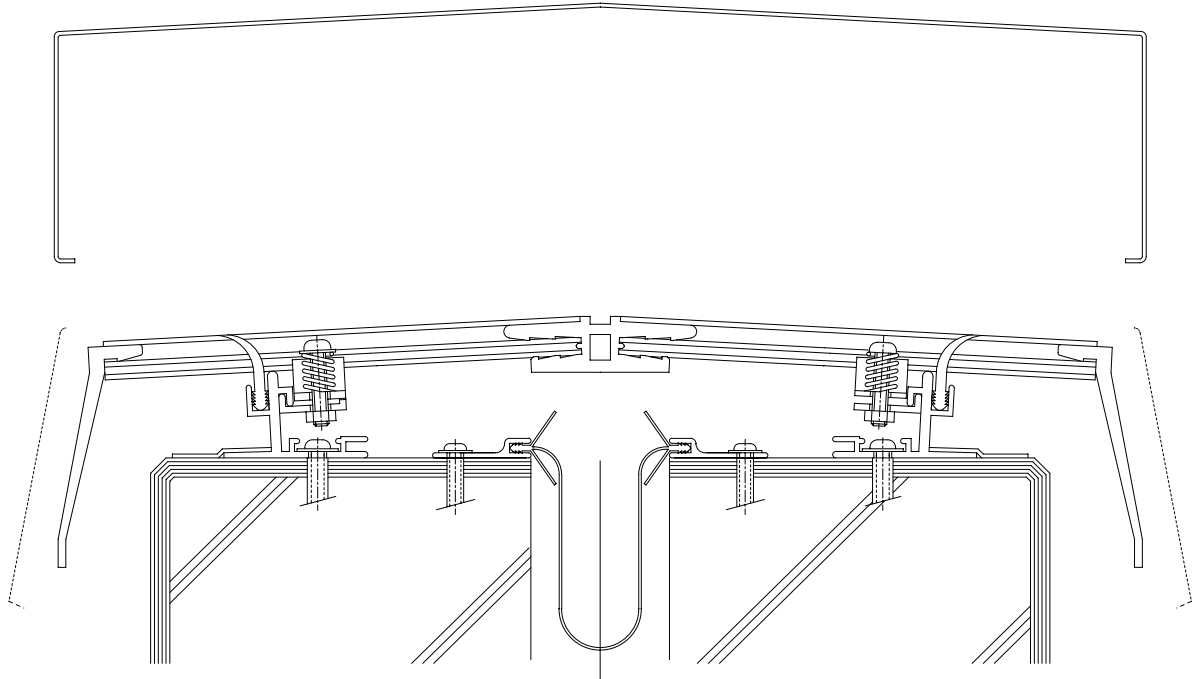


図 9

カバー接続部の取付は、次のように行います。

カバー接続部は、コーキング不要のジョイナーを取付ます。取付方については、図10に示すように片側のカバーの先にジョイナーを嵌合させておき、そのままホルダーに嵌合させます。そしてもう一方のカバーを先に嵌合させたカバーに対してクリアランスをあけてジョイナーの上より嵌合させます。

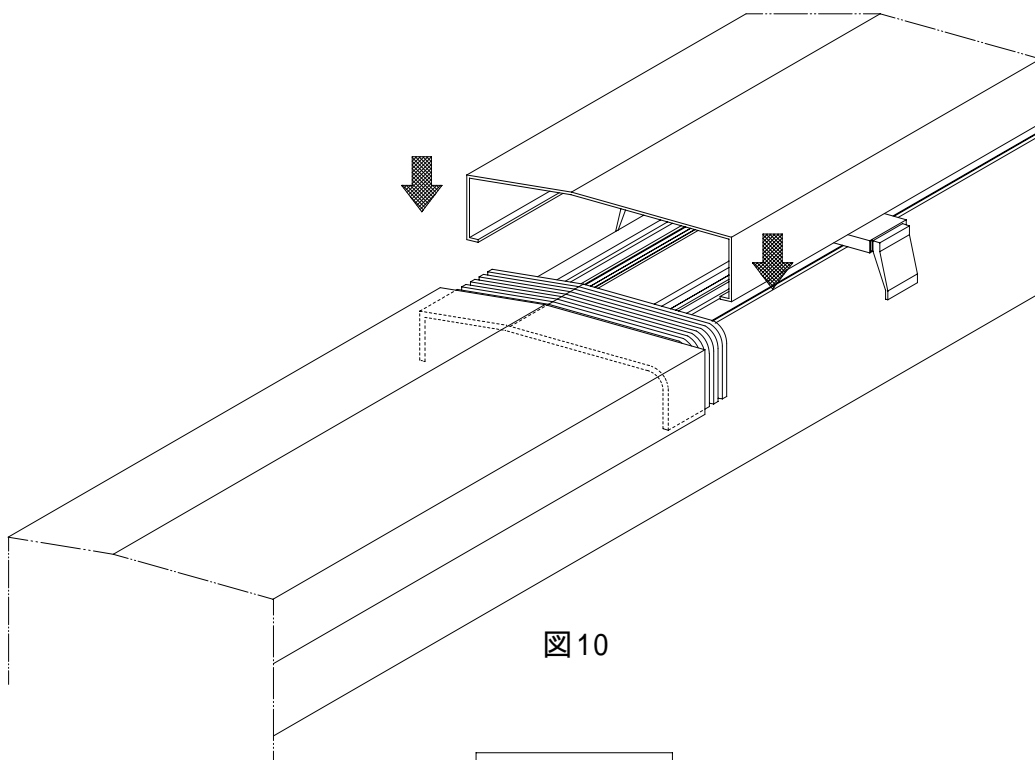


図 10

## 5. カバーのネジ止め

カバー寸法  $W = 700$  mm 以上の場合は、図11のようにカバーの取付穴位置に合わせてホルダーユニットに 3.6 の下穴をあけ、カバーにタッピンネジ (SX) ・テクスビス (AX) で固定します。

